

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和5年1月17日

協議会名:	安田町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>安田町は高知市から東へ約50kmの海岸沿いに位置し、面積は52.36km、人口は令和4年12月末現在で2,410人である。</p> <p>近年は人口減少と高齢化の進行が顕著になっている他、町内に量販店がないため、まとまった買い物のために隣接する田野町や奈半利町、安芸市に出かける例が多くなっている。</p> <p>本町における公共交通網として、鉄道(土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線:町内に2駅)と路線バス(高知東部交通:主に2路線)、タクシー事業者(2者)が営業を行っているが、既存の路線バス及び鉄道を利用できない地区(いわゆる公共交通空白地区)が多く残っていることに加え、移動手段を持たない高齢者が増加傾向にある。そこで、平成31年3月に策定した安田町地域公共交通網形成計画(現地域公共交通計画)に基づき、まずは町内における公共交通空白地区解消の取り組みとして、令和元年10月よりコミュニティバスの実証運行を行い、令和2年10月より本格運行を開始したところである。</p> <p>今後は既存の公共交通を含め、その利用状況や利用者及び住民から寄せられる意見等を踏まえ、地域の移動ニーズに対応する公共交通ネットワークへの再編を繰り返していくことで、町民が自分の意思で移動でき、誰もが「自動車のみならずとも住み慣れた場所での生活を継続できる町」を実現していく。</p>